

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
18・11・3 (土)
南NEWS no 85



下の記事は朝日新聞の10月29日(月)の夕刊です。若き日本代表、中島選手・南野選手・堂安選手のミスを取らないで、アグレッシブな攻撃を恐れず、観ているだけでも気持ちが良いですね。

ミーミン谷の素敵な人です。中でもウルグアイ戦でコーナーキックを蹴る前にリフティングに興じた中島選手、本当にサッカーを楽しんでいるなと感じました。失敗したらどうしようと思ってしまう。良い結果は絶対に出ません。自分の力を信じて思いっきりチャレンジすることを楽しむ、チャレンジ&エラ

ンプレッシングで取り返せば良いんです。ビビらないで、今持っている力で思いっきりサッカーを楽しみましょう！！

b y 南のアンパンマン



同世代の姿 ミス恐れない心

感謝のゴール

10月の日本代表戦には召集されながら、直前のドイツ1部の試合で負傷したために行けませんでした。ケガした試合は、僕の中心で今季一番出たいと位置づけていました。相手が昨季まで所属したシュツットガルトのうえ、その日は母の誕生日。その週の練習でも好調で4試合ぶりに先発。チームも勝っていませんでした。ここでゴールを決めてやろうと。「自分に決めたの舞台は整った」と意気込んでいたのですが、...

それだけに前半早々の負傷交代に、「最近の自分は持っていない」と。でも重傷には至らず、もう復帰できています。幸いです。

日本代表はウルグアイ戦をチェックしました。チーム練習を終えて急いで帰り、前半途中から。見ていてあれほどわくわくする試合は、みなさんも久しぶりだったのではないのでしょうか。ソファで見ていた僕は、じっとしていられます。

後すぐ、体を動かして外へ出てしまっただけです。中島、南野両選手と同世代にはもちろん触発されました。ゴールへ向かう姿勢や、ミスを恐れるどころかミスすることすら頭のないような前向きなプレー。気づかされたのは、自分が今、そんな姿を見せられているか、ということ。

同世代の中で、僕はA代表に早く呼ばれた方です。当初は失うものなんてないと、自然とアグレッシブさが出ていきました。招集を重ねるうち、フォアザチームの意識が強くなり、「足を引張らない」「みんなの助けになる」との考えが多くを占めるようになりました。結果、ミスに対する恐怖心も芽生えていました。

今の自分に必要なのは、ミスを恐れずチャレンジする姿勢。「自分だってできる」「あの中で自分もわくわくプレーしたい」という気持ちですが、自然と湧き出て



ハノーバー
ドイツ1部
FW 浅野拓磨

2018-10-28 市民体育大会	アサキ君	カイリ君	コウタ君	ハルト君	マサムネ君
ターン					
インサイドフック			○		
アウトサイドフック					
ドラッグバック					○
ストップターン			○		
ライトアングル		○	○		
ステップオーバー					
クライフターン					
フェイント					
ストップ・ゴー					
椅子の形	○	○		○	
マシューズ				○	○
V字	○				○
ダブルタッチA		○			
ダブルタッチB	○				
ビッグブリッジ					
シザース(またぎ)	○				○
きんたダンス					
ロコモティブ					
マルセイユルーレット		○			
キックフェイント					
その他					
ランウィズザボール		○	○		
ヘディング			○		
首を振って周りを観る					
味方に声をかける	○		○	○	
体を入れてボールを奪う	○	○			
シュート		○			

3年生がこの試合の後の午後練でニコニコしながら「南陽台と良い勝負をしました。PKで負けたけど」と報告してくれました。

午後練に出てくる子が増えている3年生。力をつけてきています。金田ダンスやストップゴー、椅子のかたちを全員が駆使できるレベルまでになってほしいです。今の何倍もサッカーが楽しめるからです。

南の中島選手と言っても良い、U-12の七小戦の石橋君のようになってほしいのです。努力すればなれますよ！！

b y 南のアンパンマン



